



イメージキャラクターサナルン



佐鳴湖だより

Vol.1

【速報】令和2年度 佐鳴湖の環境測定結果 CODの年平均値 6.4mg/L (過去最良)

令和2年度に市が行った環境測定結果が先日公表され、佐鳴湖（拓希橋）の化学的酸素要求量※（COD）は、測定を始めた1974年以降で最も低い値（低い方が汚れが少ない）となりました。

※「化学的酸素要求量」は水質汚濁の指標の1つで、値が大きいほど水中の有機物が多く、汚れていることを表します。

(佐鳴湖のCOD年平均値推移)

1974年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年
16mg/L	14mg/L	11mg/L	12mg/L	8.1mg/L	6.4mg/L

これは、行政だけでなく、流域にお住いの市民や企業の方々による取組の成果が数値として現れた結果であり、「日本で一番汚い湖」から「きれいな佐鳴湖」へと移り変わってきていることがわかります。これまでの努力を無駄にしないためにも、皆様には佐鳴湖のために引き続きの取組をお願いします。

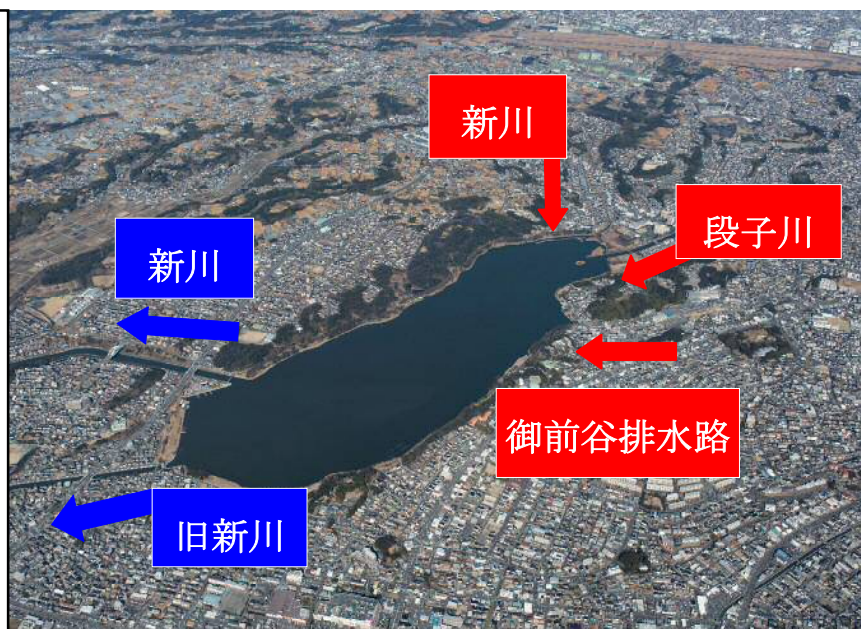


平成 26 年～29 年度に年 1 回発行していた「佐鳴湖だより」をリニューアルして再開します！

新しい佐鳴湖だよりでは、佐鳴湖の環境の現状や行政の取組、市民の皆様が取り組んでいる活動やイベント情報などをご紹介します。不定期となりますが、年 3～4 回発行を予定しています。

佐鳴湖とは

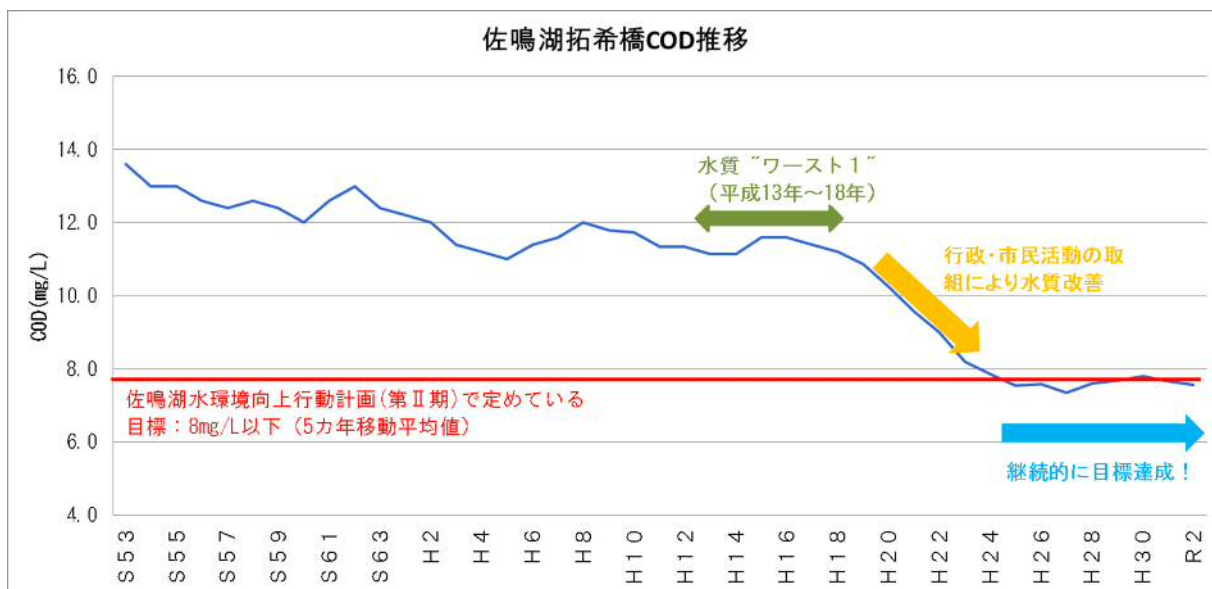
○大きさ	約 1.2km ²
(東京ドーム	26 個分)
○たての長さ	約 2.3km
○よこの長さ	約 0.6km
○湖周囲の長さ	約 5.5km
○平均深さ	約 2m
○最大深さ	約 2.5m
○湖の水の量	240 万トン
(東京ドーム	2 杯分)
(25m プール	5300 杯分)



佐鳴湖は、流入する河川からの影響で平成 13 年～18 年の 6 年間環境省の調査で「日本で一番汚い湖」となりました。しかし、1 面でお知らせしたとおり、佐鳴湖をきれいにするための取組の成果により、最近では水質が大きく改善しています。

COD の移り変わりを見ると、平成 16 年頃までは 12mg/L 程度だったのが、ここ数年は継続的に 8mg/L 以下（5 年移動平均値※）を維持しており、佐鳴湖水環境向上行動計画で定めている目標を達成しています。

※COD の推移の傾向を読み取りやすくするため、年度ごとの平均値ではなく、当該年度から過去 5 年分の値から平均値を算出しています。（例えば、令和 2 年度の 5 年移動平均値は、平成 28 年度～令和 2 年度の COD の年間平均値の平均をとった値になります。）



佐鳴湖だよりでは、佐鳴湖周辺で活躍する団体等の活動内容について紹介していきます。第1回の今回は、佐鳴湖公園で自然の恵みを活用した活動や地域密着型のイベント開催などの活動をしている、SHARE THE PARK（シェア・ザ・パーク）さんの取組について、代表の大村淳さんに紹介いただきます。

佐鳴湖で 自然も人も生き物も活かしあえる つながり

持続可能な未来に向かう時代の中、佐鳴湖には都市近郊としては稀有な豊かな自然環境があり、水質や外来種など様々な課題の解決がより重要になってきます。SHARE THE PARK では、これらの課題の解決のためには、より多くの人々の関心を佐鳴湖公園が有する身近な生態系に向けていくことが必要と考え、生態系をベースとした持続可能な地域社会の活性化に向け、佐鳴湖周辺で豊かな地域を作るための活動をしています。アップサイクル（より価値を高めたりサイクル）、シードバンク（在来種野菜の種のかち合い）などサステナブル（持続可能な発展）やローカル（地域密着）をテーマに、公園利用者や地域の方々の繋がり場として『DAY!』というイベントを2ヶ月間隔で開催しています。



都市を食べられる森の菜園に

SHARE THE PARK の活動では、自然と人といきものがともに豊かになる一つの都市型活動の提案として、アーバン・ガーデニング（都市菜園）の普及を行っています。ガーデニングは地域の資源循環にもつながり、食の生産と自給、植物を育てることを通しての都市の自然環境の復元、コンポストの利用促進など、おいしくて、楽しい、都市を自然豊かにする多様な効果を生み出すことができます。



この試みの一つとして、佐鳴湖公園北岸管理棟前にフォレストガーデン（食べられる森の菜園）が生まれました。忙しい都市生活の中でも気軽に栽培できる多年草の野菜や山菜ハーブ（植えたら何年も収穫できるもの）などをベースに、様々な果樹を狭い空間を生かしながら植えていく手法も紹介しています。これらの手法はパーマカルチャー（持続可能な生活様式のデザイン）に基づいていて、それらを学び体験する講座なども開催しています。

SHARE THE PARK の
活動・連絡先などはこちら



<https://www.sharethepark.com/>

佐鳴湖地域協議会の活動

佐鳴湖地域協議会は、地域の代表の方々、学識経験者、静岡県、浜松市で構成しており、佐鳴湖流域一体となった総合的な水環境向上を目的に活動しています。

佐鳴湖地域協議会では、佐鳴湖に関する様々な調査（魚類や透明度、深淺調査など）や小学校等での出前講座、ヨシ刈りなどのイベントの開催などの活動を行っています。

活動の詳細はウェブページをご覧ください。



佐鳴湖のプラットフォームづくり

佐鳴湖地域協議会では、佐鳴湖に関する課題に対して、市民が協働・連携してイベントや調査・研究などの活動を行っていくための情報交換・取組の場（プラットフォーム）の構想を検討しています。

プラットフォームづくりの第1弾として、今年度中に「(仮称)佐鳴湖プラットフォーム交流会」を開催する予定です。佐鳴湖周辺で活動している団体の活動報告、活動に対する質問や意見交換を行う機会としていきたいと思っておりますので、是非ともご参加ください。詳細が決まり次第、佐鳴湖地域協議会 HP や佐鳴湖周辺の協働センター等でお知らせしますので、続報をお待ちください。

なお、プラットフォームに先立ち8月24日に開催を予定していた「佐鳴湖シンポジウム～美しい佐鳴湖のためのプロローグ～」は、静岡県が緊急事態宣言の対象地域となったため中止しました。



佐鳴湖活動費助成金制度について

佐鳴湖流域で活動を行う団体に、年間5万円を上限に助成金を交付する制度を設けています。現在、制度の見直しを行っており、助成金の申請時期が例年より遅くなっていますが、令和3年度中に実施した活動については助成の対象となりますので、申請受付開始までお待ちください。

■佐鳴湖地域協議会からのお知らせ■

佐鳴湖に関連するイベント情報やニュース、プチ情報など、佐鳴湖だよりに掲載したい情報がありましたら、お気軽に佐鳴湖地域協議会事務局（浜松市環境保全課）までご連絡ください。

お問い合わせ先

佐鳴湖地域協議会事務局
静岡県浜松土木事務所企画検査課内
TEL：053-458-7266
浜松市環境部環境保全課内
TEL：053-453-6144



<http://sanaruko-net.com/>
発行：佐鳴湖地域協議会
発行年月日：令和3年9月